

■発行/  
公益社団法人 相模原法人会青年部会  
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-13-16  
TEL.042-755-3027 FAX.042-753-3273  
URL. http://www.sagamiharahojinkai.or.jp  
■発行責任者/小口伸夫(青年部会長)  
■編集責任者/宮崎健一(総務・広報委員長)

## 署長を囲む座談会

H26年 10/14



講師の大角署長に花束贈呈



7名の合計  
35名の方に  
参加して頂  
きました。

宮古島のマリンブルーの海、きれいな砂浜、水平線に沈む夕日の写真や、宮古島独特の方言などをユーモアを交えて解説してくださいました。多くの方が、沖縄本島には行っても、宮古島には、なかなか行く機会

がないのではと思います。本島から離れた離島の素晴らしさを知ることが出来て、宮古島を観光した気分になれたのではないかと思います。

その後の交流会では、沖縄の焼酎の「泡盛」を署長がお持ちになり、宮古島のお酒の作法「オートーリ」で、みなさん楽しく税務署の方と歓談されていて、非常に楽しい事業を行うことが出来ました。

研修・交流委員会 委員長 牧 恒太

毎年行われている、署長を囲む座談会が、法人会館にて10月14日に女性部会と合同で開催されました。

今回の講師は、相模原税務署長、大角良昭様による、「宮古島の素顔」という内容で、青年部会14名、女性部会14名、理事他

大角署長は1年間宮古島税務署で署長を務めていらしたということで、たくさん風景等の写真を撮影されていたようです。その一部から、宮古島を観光するならこんな場所、この食べ物とガイドさながらの解説でご紹介して頂きました。

## 3法人会交流事業について

H26年 10/17

発表をする佐藤副部会長

平成26年10月17日(金) 厚木のレンブラントホテル厚木にて、第5回 相模原・大和・厚木 三法人会青年部会合同イベントとして、各法人会から2名が自身の事業について発表する形式での異業種研究会が開催されました。

相模原法人会からは、最近入会された、クチコミュニケーションズ 名取 政子さんが、格安ながらマッチング率の高い独自の手法による婚活サービス事業について、私、株式会社佐藤ガスサービス 佐藤 俊太郎がLPガスの性質と業界についての話しをしました。

大和法人会からは、建設業の通所道路株式会社 好男さんが、世間的にはあまり良いイメージを持たれない公共事業の裏側、特に最近の厳しい入札制度について、有限会社 棕一級建築士事務所の棕



康兵さんが、建築士の仕事と、家を建てる時に建築士を入れる利点について話されました。

厚木法人会からは、ソニー生命保険株式会社の森田 英喜さんが、融資の際の金融機関が見るポイント、定量分析、定性分析、特性分析などについて、株式会社M&Yの湯元 博一さんが、東北地方では一般的な



高断熱住宅の施工法と関東近郊で建てた時の優れた特性効果の紹介をされました。

第二部の懇親会では皆様積極的に名刺交換をされていて、とても有意義な時間でした。

その後も私は厚木法人会の方々と遅くまで厚木の夜を楽しんで来ました。

副部会長 佐藤俊太郎

## チャリティーゴルフ大会

H26年 10/27



毎年秋の恒例行事、相模原商工会議所と相模原法人会との共催『チャリティーゴルフ大会』は、今回21回目を迎え10月27日(月)に相模原ゴルフクラブにおいて、相

模原商工会議所主幹にて開催されました。心地よい晴天の中プレーと懇親会を楽しませて頂きましたこと、相模原商工会議所青年部の皆さまのご尽力に心より感謝

挨拶をする稲場会長



申し上げます。

また、チャリティーにご協力頂きました参加者の皆様、ご協賛頂きました企業様、誠にありがとうございました。

本年秋には法人会が主幹でチャリティーゴルフ大会が行われますので、皆さまのご参加お待ちしております。

副部会長 中村義雄

H26年 12/25

## チャリティー寄附

昨年10月27日、相模原法人会・商工会議所の共催チャリティーゴルフコンペが盛大に行われました。チャリティーに参加頂いたプレーヤーを始め、関係者からも多くのご協賛やお手伝いをいただき厚くお礼申し上げます。

今回のチャリティーは25組97名の参加者に参加費3,500円のうち500円を拠出していただき、総額48,500円が集まりました。寄付の授与式は12月25日、相模原市役所と相模原市社会福祉協議会へ小職と相模原商工会議所清水青年部長の二名が

訪問し、市役所では山口和夫副市長、社会福祉協議会では高部 博常務理事にお出迎え頂き、それぞれ24,250円の寄付をさせていただきました事をご報告いたします。

山口副市長からは東日本大震災の被災地大船渡市ではいまだ震災の傷が癒えずまだまだ支援が必要とのお話を頂きました。高部常務理事からは福祉への関心が薄れること無いよう、我々のこの取り組み

市役所へ寄附



社会福祉協議会へ寄附



が意義のあることだと感謝の意をいただきました。来年以降も続いて行くこのチャリティー事業が、より多くの善意ある参加者を集められるようになればと感じています。

部会長 小口伸夫

## 新年会

H27年 1/20

青年部会の新年会が平成27年1月20日、緑区橋本の小田原屋にて、現役部会員32名、OB7名、合計39名の参加の下、盛大に開催されました。昨年度を上回る人数の参加があり、青年部会の勢いが感じられました。

余興として、景品争奪税金クイズ大会が行われ、内容は総務・広報委員会が独自に作成した問題で、チーム内の延べ正解者数で競い合う方式により楽しく行われました。またミスターTKこと高橋和也部会員によるマジックショーも行われ、そのレベルの高さにたびたび歓声が上がりました。

途中でOBの皆様からも一言ずつご挨拶



をいただき交流を深めることができました。初めて参加される方も多く中で、青年部会の結束をより強めることができた、す

ばらしい新年会であったと思います。

総務・広報委員会 副委員長 才川重久





**部会長サミット**

11月20日・21日と全国青年の集い秋田大会が行われました。2日目午前8:30からは秋田キャッスルホテルにて、各法人会青年部会長サミット円卓会議が行われ、10名1テーブルで『10年後の法人会青年部会の具体的な活動内容』について活発な意見交換を致しました。各単位会の状況は事前のアンケートシステムにより意見集約するという方式がとられていて段取り良く意見交換ができたと思います。

「教える側のレベルアップ」「学校の教育指導要領に組み込み科目化し外部講師を法人会が担当する」「学校や地域と連携して体験型に」など教育現場へ行く気満々の

意見が集約され発表されました。我が相模原法人会青年部会も租税教室に取り組んで2年目となりますが講師の養成も進みつつあります。この租税教室活動を青少年や地域社会に良い影響を与えるものにする事で、我々自身の成長にも繋がることでしょう。

部会長 小口伸夫

**租税教育プレゼンテーションについて**

今年で28回目の法人会全国青年の集いが秋田で11月20日、21日に開催され、小口部会長を始め役員、部会員17名で、参加目的の一つである初日の全国の優秀な

租税教育活動プレゼンテーションを昨年と比較しながら見てきました。

今年のプレゼンテーションは、基本的に忠実な租税教育・教室活動の紹介もある中で、いくつかの法人会は、独自の工夫を凝らして参考になる所もありました。

私は翌日、租税教育プレゼンテーションのブースを全部回り、参考になる法人会担当者とは名刺交換をして話し、資料を頂いてきました。これはその場でないと入手しづらいと思ったからです。この資料は委員会で発表し事務局に保管しておきますので、御興味のある方は是非ご覧になってください。

改めて感じた事です。租税教育は小学生や中学生を主に対象としますが、場合によっては高校生、あるいは大学生までも対象とします。故に、現状の教育方法(アプローチの仕方やツール)と委員会では恥ずかしながら限りがありますので、青年部会全体の意識の高揚が必要です。そして実績を積み重ねる事により自信が付き、次へのステージ(プレゼンテーションエントリー)に繋がると確信しております。どうぞ、部会員皆様の力を貸して下さいますようお願いいたします。

社会貢献・公益委員会 委員長 平賀周一

**事業PR**

H26年 8月~12月

青年部会では毎月1回開催される全体会議の中で、部会員の事業紹介を行っております。80名を超える部会員同士の新たなビジネスの機会にできれば、更なる青年部会の発展に繋がると考えたからです。

お互いの職種がわかっても、詳しい事業内容までは把握できていないのが現状です。会社名からだけでは気付かなかったサービスも展開していたりと、新たな発見も多数ありました。

このような新たなビジネスの機会を創造できる、部会員間の交流もありますので、部会員の皆様をはじめ、興味のある方は是非、青年部会のドアを開けてみてください。 副部会長 林 大介



8月 山本武仁



9月 名取政子



11月 高瀬芳明



12月 青島英臣

**SS会ゴルフコンペ**

H26年 7/16

平成26年7月16日(水)津久井湖ゴルフクラブにて、第8回SS会ゴルフコンペが行われました。SS会とは、相模原商工会議

所青年部と相模原法人会青年部会の交流を目的としたゴルフコンペです。 当日は真夏の日差しの中、両青年部の

OBも参加して頂き7組23名で楽しいゴルフが出来ました。

表彰式はJR相模原駅前の敦煌酒樓で行われました。同じ市内の団体と言う事もあり、お互い顔見知りが多く楽しい交流ができ、先輩方が続けてきたこのような交流を、今後も続けていきたいと思いました。

幹事の関戸さん、お疲れ様でした。 総務・広報委員会 委員長 宮崎健一



懇親会



発行/ 公益社団法人 相模原市青年部会  
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-13-16  
TEL.042-755-3027 FAX.042-753-3273  
URL: http://www.sagamiharahojinkai.or.jp  
発行責任者/ 林 大介(青年部会長)  
編集責任者/ 菊地 潤(総務・広報委員長)



## 青年部会・新部会長 林 大介 にインタビュー

★ 法人会青年部会に入会したキッカケは?

15年前に同じ相模台地区だった歴代部会長の石沢さん(石沢ニューフード有限会社)から誘われ、一緒に市民桜まつりへ麻溝台から自転車でいったことが全ての始まりで、入会届けを書いた記憶がないほど衝撃的な始まりでした。しかも、その当時の青年部会員は今では親会の役職に就く、錚々たる先輩方で、全く経験のなかった私には色々な話を聞かせてもらったり、楽しくさせてもらったりと本当に勉強になりました。また、その当時の現役部会員は2名しかおらず、相当昔だったことがわかりますね。始めに配属した委員会は広報委員会で、それから、ずーっと広報でした…(笑)

★ その当時と今の違いはありますか?

今の明らかな違いは、部会員が全員「社長」ばかりで経営は勿論、酒の飲み方から遊びに至るまで、全てに於いてテンションが高く、家族ぐるみの付き合いも多かったです。また、今が悪くなったという事ではなく、より分かり合える環境を先輩方が作っていました…とにかく団結力が強かったように感じます。そんな中、色々な方々と仲良くなれて本当に良かったですし、経営者の一人としても多くを学ぶことが出来ました。今後、そんな付き合い方が出来るような、青年部会にしていきたいと考えております。(是非、皆様も協力して下さいね。)

★ 林部会長は、そういった意味も含めて、今回のスローガンでもある「伝承と進化」にしたのですか。

このスローガンの「めぐり逢いの不思議に手を合せよう」という言葉が頭に元々ありました。団体で色々な活動を経験していく中で、私自身が「人とのめぐり逢いの不思議、喜び、嬉しさ、感謝」を先輩方や仲間達から感じ、自然に汲み取っていたように、青年部会員の皆様にも、この素晴らしい仲間に出逢う感謝を感じ取って頂きたい…そう強く願い、このスローガンにしました。

青年部会に入会して諸先輩方との出逢いが自分の成長の根底にありました。これが伝承。そして、小口前部会長の時に部会員が倍近く増えた事で、今新しい風が吹いている事。これを活かし進化させることが私の役目だと感じております。

当時の先輩が作った自然に分かり合える環境を伝え、例えば会議でも喧嘩のように本気でぶつかり合う位の諸先輩方から受け継いでいる法

法人会青年部会の仲間意識の強さ、形だけではない、心から解り合えるような関係を先頭に立ってサポートしたい。そして進化は、新しい風を活かした現役部会員の個性やスキルを活かせる活動をしてゆく所存です。

★ 林部会長は他の青年団体に所属されていますが、他の青年団体と法人会青年部会の大きな違いを教えてください。

法人会の特徴は相模原市内を分け隔てなく、同じ団体としてまとまっており、相模原市内唯一の会議体であることに物凄い可能性を秘めていること。そして公益社団法人として、より事業目的が明確になることで可能性が広がること。この両輪が同時に動き出すことが一番凄いなと思っております。何より、温かく見守ってくれる家族のような親会の存在があるという安心感と安定感が魅力。相模原を一つの舞台として活動出来る唯一の団体である事をもっとも市内外に広くアピールし、これから進化させる事でいかに変化出来ると、私は考えております。

★ 青年部会は酒好きな方が多いイメージがありますが…

そのイメージ間違いないです(笑)。青年部会は酒というか酒の席が好きなのは間違いないですね。特に量でいけば、小口氏、牧氏が凄いですし、愉しさから言えば…まあ、何でも言える環境づくりの一つとして酒はある意味、必要なものかもしれませんね(笑)。

★ 新たな副部会長に期待することはなんですか?

勿論、私が何も出来ないのをサポートして頂きたい。委員会のお目付け役だから、会の方針をしっかり落とし込みながら委員会を見守って欲しいですし、副部会長の手腕に頼っちゃいます(笑)。

★ 全ての部会員に期待することは?

新しくなった、いや、進化しようとする青年部会にまずは参加して欲しい。そして沢山の出逢いをして欲しいです。

★ それでは最後に一言お願いします。

横の繋がりを強め、どんどん他の団体と連携して行きたい。皆様の力を借りながら法人会の「素晴らしさ」を広めて参ります。部会員の皆様、「伝承と進化」をスローガンに新しい青年部会を創って参りますので積極的に参加して下さい。

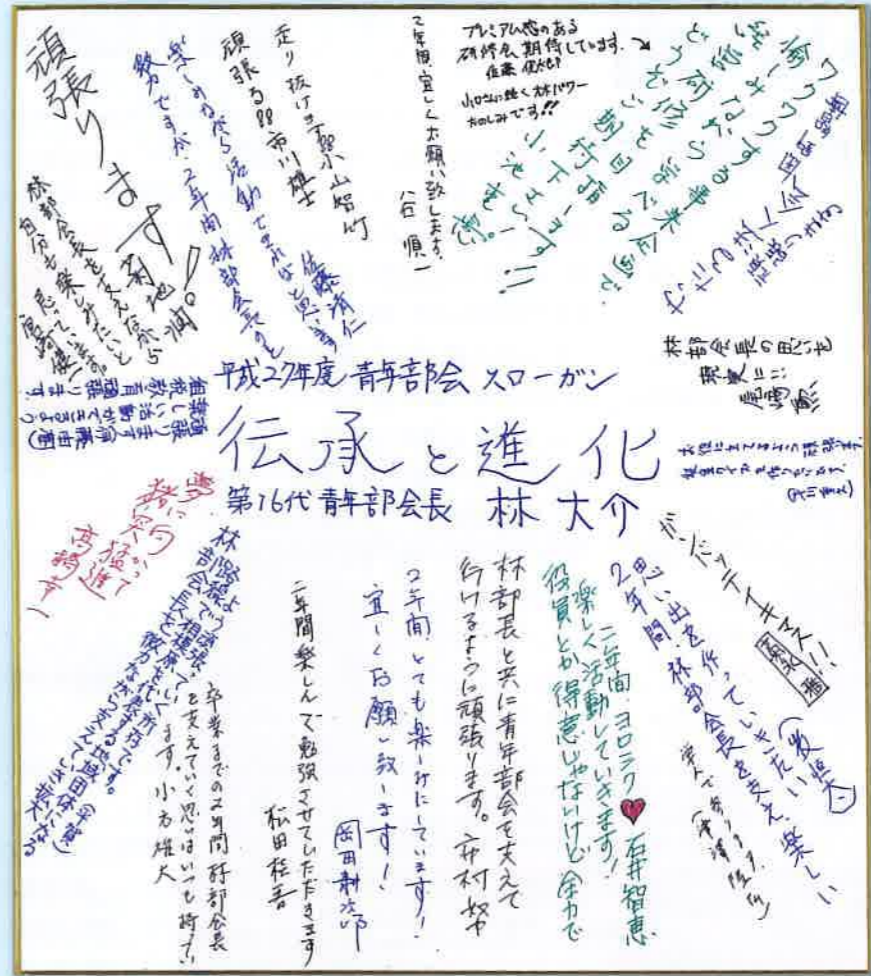


## 林新部会長を支える副部会長と特別幹事



小方 雄大 (岡オガタ) 福本 寿 (徳協和観光) 中村 義雄 (ふじみ式典) 牧 恒太 (株式会社MAKI エンジニアリング) 関戸 和浩 (しゅうらく) 平賀 周一 (株式会社平賀) 宮崎 健一 (株式会社FUN) 佐藤 俊太郎 (株式会社佐藤ガスサービス) 高橋 幸一 (株式会社高橋石材店)

## 平成27年度 役員の抱負



## 平成27年度・平成28年度 青年部会組織図 (敬称略)

平成27年8月現在





## 平成26年度 事業報告会 (ホテルラポール千寿閣)

H27年 5 / 27

平成26年度事業及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算についての報告を滞りなく終了いたしました。

報告会では、現役部会員やOBが45名参加。相模原税務署や、今年から近隣諸団体の方にも参加して頂きました。

又、報告会終了後の懇親会では、約60名にて楽しい交流会が出来ました。

今年の青年部会卒業生は小口直前部会長1名でした。「卒業おめでとうございます!」と声をかけると、「ここ数年大変充実していた」と満足した様子でした。青年部の思い出を伺うと「青年部に入ってあつという

間の4年でした。そのうち2年間を副部長、卒業までの2年間を部会長として勤めさせて頂きましたが、部会員の助けがあったから続けられました。」と、青年部みんなへの感謝の気持ちが伝わってきました。

なかでも、会議後の懇親会や青年部の交流事業で行った中国大使館や地引網、ワイナリー見学などや、大勢で温泉に入り、裸の付き合いが出来た事が印象に残っているとの事でした。

「これからはOBとして応援していくから、頑張れよ!」とお言葉を貰ったのですが、私には、その時の顔が何処となく寂しそに



見えました。

ここ数年の青年部部会員は物凄い勢いで増えています。先輩方の伝統を守りつつ、新しい事業を企画して、OBと共に青年部会を盛り上げていきたいと思っています。

副部会長 宮崎 健一

## 県連青年部会連絡協議会セミナー (吉池旅館)

H27年 3 / 6



箱根湯本の吉池旅館でおこなわれたセミナーでは、我が青年部からも12名が参加しました。今年の講師は女子体操競技の日本代表の田中理恵氏でしたが同行した空手家の芳賀章氏との対談形式という一風変わった講演になりました。

田中理恵さんの体操選手時代のお話と芳賀氏のユニークな話が印象に残りました。

前部会長 小口 伸夫

## おもしろカレッジ(交流事業)

H27年 3 / 10

青年部会の恒例事業である「おもしろカレッジ」の一環として、相模原市・愛川町・厚木市にまたがる宮ヶ瀬ダムと、埼玉県にある首都圏外郭放水路を見学してきました。

今回の研修場所については、近年の温暖化による異常気象、更にはここ2、3年、関東地方でもよく知られるようになったゲリラ豪雨など、私たちが住む相模原も地球全体の環境変化に少なからず影響を受け、自然災害から市民の生活やインフラ等がどのように守られているかを考えるという目的から選ばせて頂きました。

ダムの雄大さ、外郭放水路の巨大な水槽など、人間の知恵と技術に感心させられ

るとともに、国税によりこの施設が建設されたことの意義、必要性を強く感じました。

埼玉県春日部地方は、外郭放水路が完成する前は大雨が降ると河川の増水により度々田畑や住宅に水が侵入し生活基盤に甚大な被害を与えたということを施設職員の方に映像を交え説明して頂きました。

私たちが住む相模原にはいくつかのダムがあります。ダムが建設されたことによって、自宅が湖底に沈んでしまった方もいらっしゃると思いますが、もしもダムがなかったら、台風やゲリラ豪雨などによる多量の雨水を処理できないであろうし、どれほどの被害になるのか想像もつきませんでした。

参加して頂いた皆さんも普段立ち入れ

ない場所を実際に見ることが出来、非常に満足して頂けたようです。

相模原に帰ってからはいつものように夜遅くまで交流を行い、非常に楽しい1日でした。参加して頂いた皆さん有難うございました。

副部会長 牧 恒太



## 厚木・大和・相模原法人会青年部交流事業 (中津川カントリークラブ) H27年 2 / 4

厚木・大和・相模原の三法人会青年部による恒例のゴルフコンペが開催され総勢6組24名が中津川カントリークラブに集いました。

優勝こそ厚木の落合部会長がさいま

したが我が部会からも高橋幸一氏が3位、小口前部会長4位と健闘しました。

表彰式は夕方から青年部会OBでもある千寿閣で盛大に行われ、各青年部会士大いに親睦をはかりました。

今回は相模原青年部が幹事ということで宮崎委員長をはじめ準備運営に携わってくれた皆様に感謝申し上げます。

前部会長 小口 伸夫

## 平成26年度「租税教室」活動報告

私どもの委員会では租税教室を担当させて頂きました。

この事業は小方元部会長の時に話があったのですが、当時は30周年事業等があり開催できず、小口前部会長の時に初めて相模原法人会青年部会で租税教室を開催することになりました。

当時は講師役も少ない中で委員会が中心となり平成25年度に2小学校4時間197人の6年生を対象に行いました。1年目は講師役の教育・育成が課題と考え、青年部会全員参加の協力をお願いし、翌年度には2小学校8時間260人の6年生を対象に行うことが出来ました。2年目は講師役も当初の役員、委員会メンバーのみだけでなく青年部会全員の中から有志のメンバーに快諾を頂き参加して頂きました。この



場をお借りして改めて感謝申し上げます。

次年度は租税教育委員長である伊藤さんに引き継いで頂き3年目は教室の数を増やし沢山の経験の中で教育のアプローチの手法を考え、何としても林部会長の時に

法人会全国青年のつどいの租税教育活動プレゼンテーションにエントリー出来るまでにグレードアップしていきたいと考え期待しております。

副部会長 平賀 周一

## 互版せしねんぶ 編集部員後記

青年部会員のちょっとしたリフレッシュ法や趣味などを紹介します♪

### ～編集部員・清仁先輩の独り言～

今号は、私のリフレッシュ方法の一つ、大好きな「映画鑑賞」を紹介します♪

さて、皆さんは映画を観ますか?

映画は、観た作品、観た人によって意見や感情がバラバラになる代表的な「嗜好品」です。例えば、映画を観てスカッとしたり、ハラハラしたり、笑い転げたり、胸が苦しくなったり、悲しみに押し潰されそうになったり、何とも言い難い優しさに心が一杯になったり…。でもコレ、隣で観ている人は違う意見になっているかも知れないのが映画の楽しい部分。つまり、観る人によって捉え方が違うので映画の感想で、大体その人の考え方が解ってしまいそうになるのではないのでしょうか。

そんな映画ですが、最近「映画は他者の



人生を感じる事が出来るために人生経験の一つになる。いざという時の物事の考え方を自然と学ぶ事が出来る」と、見直されているようで、身近にある情操教育の一環として映画を観るという考え方がなっているようです。今の社会は、ただの娯楽だけではなく、豊かな創造力や知的好奇心を育む心を求めているように感じます。

私も、その時の気分に合わせて、好きな

映画、興味のある映画を観ていると、自分の感情が上手く人に表現出来ているのか? もし、あの状態が起こったら?あの人みたいに考えてみたら?と、色々考える事が出来て自分の許容を考えるきっかけにもなっています。ぜひ一度、気になる映画(出来れば分類ヒューマンドラマ作品)を何も言わず考えず、一人で観て下さい。終わった時、きっと、あなたの心に今までと違う何かが残ると思います。

何故なら、それが映画の魅力だから…。私のオススメとして、ありきたりですが「サウンドオブミュージック」「アイアムサム」「レナードの朝」「グリーンマイル」などは是非一度、手に取って観て下さい。アディオス!

公益・広報委員会 副委員長 佐藤 清仁